

# おだがいさま

odagaisama

第99号  
令和4年  
4月1日発行

## 人間力を育てたい



### 学習支援員の立場から子どもの成長を見守る

中学校教員を退職後、何かしらの形で子どもたちの教育に携われないかと考えていた齋藤秀一さん。そんな中、学習支援教室のスタッフをやってみないかと紹介されたことが支援員となったきっかけだったそうです。現在は、主にひとり親家庭の子どもたちの学習支援に携わっている齋藤さんにお話をお聞きました。

「支援員を始めた頃、学習支援教室は『勉強を教える場、勉強を教わりにくる場』だと思っていました。様々な家庭環境で育った子どもたちと関わっていくうちにそれだけの場ではないと感じるようになっていきました。子どもの尊厳を大切に、勉強だけが強調される場ではなく、人として成長できる居場所になればと思いながら今は子どもたちと関わっています。問題の解き方を教えるだけではなく、私たち支援員も問題に向き合いながら一緒に考え、苦勞を共有し、粘り強く努力することを学んでもらいたいという気持ちで臨んでいます。『学ぶ』ということが何なのかわかってくれれば、それがこれからの人生に生きていく。この場が子どもたちにとって将来につながる場所になればと思っています。」

### 学習支援教室とは

様々な事情により十分な学習の機会が得られない子どもたちを対象に、教員経験者や学生ボランティアが支援員となり、無料で学習の場と機会を提供しています。

学校の宿題や自主学習への取組を支援し子どもの学力向上を目指す一方、支援員との関わりの中で学ぶことの楽しさを発見したり、参加者同士の新たなつながりができたりと、幅広い年齢層の人とのコミュニケーションを通して人間的な成長を支えることも目指しています。



## まちづくりはここから！地域支え合いプラン

「地域支え合いプラン」をもとに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりのため、各地域で様々な取組が行われています。藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海地域では、平成28年から令和2年まで実施された「第1次地域支え合いプラン」の取組の評価や見直しを行い、令和3年、新たに「第2次地域支え合いプラン」を策定しました。今回はこの5地域での取組をご紹介します。



## 朝日地域

**地域の特徴** 「月山」「湯殿山」「朝日連峰」に囲まれ、庄内と内陸を結ぶ出羽の古道“六十里越街道”は、トレッキングコースとして多くの人に親しまれている。大自然の恵みを受けながら、庄内平野の水源、赤川が流れ出ている。  
人口 3,753人 世帯数 1,287世帯  
(令和3年4月現在)

## プラン①【つどい】

・さまざまな世代の住民がふれあい、学び合うことができる場や地域の未来を話し合う機会をつくります

## プラン②【見守り】

・地域の中の「気になる方」を把握し、「普段の暮らしの見守り」「集まって見守り」「訪問して見守り」など、さまざまな方法を組み合わせながら見守りを行います

## プラン③【生活支援】

・「支える人」と「支えられる人」の一方通行ではなく、「おだがいさま」の関係を大切にした住民同士の助け合い活動を広げていきます



企業の皆さんによる除雪ボランティア

**地域内外のマンパワーを結集した！**  
第二次地域支え合いプラン策定にあたり、朝日地域三つの地区ごとに実施したアンケート調査で、どの地区からも困りごととして多く挙がったのが「雪」に関わるものでした。  
それを受け、中央コミセンでは令和2年度から、自力での除雪が難しい高齢者世帯等と除雪支援に手を挙げたサポーターをグループ化する取組「おだがいさま除雪支援ネット」を開始しました。令和2年度は対象者九名に対し延べ百八十九回もの支援を行いました。令和3年度は対象者が十二名に増え、それに伴い活動実績も大幅に増加しました。  
また、東部・南部地区でも、除雪や雪下ろしを通じて地域貢献をしたいと考える企業と除雪などの問題に悩む高齢者世帯等をコミセンがマッチングする取組が始まっています。  
朝日福祉センターでは、こうした取組に対し企画協力や活動助成、協力企業等の募集などを行い、活動の定着を図っています。

## 温海地域

**地域の特徴** 西南端新潟県境に接し、三方を摩耶山系の山々に囲まれ4本の河川が並行して日本海に注ぐ、自然の魅力が凝縮されている地域。「あつみ温泉」は県内有数の観光地として知られる。  
人口 6,712人 世帯数 2,661世帯  
(令和3年4月現在)



温海中学校での福祉学習

## プラン① プライバシーに配慮した個別課題の解決

・困っている人に気づき、センターに相談、見守るといった相互作用を目指す など

## プラン② 防災について意識啓発活動

・要援護者を想定した防災訓練の実施やマップの作成、災害弱者の理解を深める など

## プラン③ 福祉教育の実践 ボランティア講座

・人々の多様な在り方を相互に認め合える福祉教育を学校とともに実践する など

## プラン④ 人との関わりの機会の確保や孤立の解消

・孤立にある方に気づき、地域催事やボランティア、社会参加を促す など

**福祉教育の実践**  
「未来は子どもたちの手の中」  
第二次地域支え合いプラン策定にあたり、各自治会長へのヒアリングを行った際、「子どもが少なくなつて子どもを対象にした行事が出来ない、形を変えてでも残せるものはないか」などの声が挙がり、「地域に対してどんな思いや期待を寄せているのか、子どもたちに直接聞く」ということから、温海中学校の三年生を対象に「温海の未来を考える」と題し、福祉学習を行いました。  
「福祉」「商業」「温泉」「自然」それぞれに活躍する地域住民の協力の下、自由な意見やアイデアが提案されました。真剣に温海の未来を考える子どもたちに、無限の可能性を再発見する貴重な時間となりました。  
今後、郷土理解や多様性を認め合うなど、「ふだんのくらしのしあわせ」を学ぶ福祉学習を学校とともに進めていきます。

## 藤島地域

**地域の特徴** 庄内平野のほぼ中央に位置し、平野部が多く農業に適した地域。農業関係機関も集積し、庄内の農業の中心的役割を担っている地域で、全国的に人気のブランド米「つや姫」や「雪若丸」誕生の地でもある。  
人口 9,653人 世帯数 3,186世帯  
(令和3年4月現在)



地域交流農園での収穫

## プラン① 身近な地域で見守り・気にかける地域づくり

・子どもたちの福祉の心を育む学びの機会づくり など

## プラン② 人が集い・つながる場づくり

・農業と福祉の連携を通じた交流や高齢者の生きがいづくりの推進 など

## プラン③ 私たちができる！地域における支え合い活動の推進

・住民組織と専門機関・団体のネットワークを構築する など

**農業を通して高校生と地域住民の交流**  
藤島福祉センターでは、「農業」と「福祉」を一体的に考える機会として、平成28年度から「農福連携プロジェクト事業」に取り組み、庄内農業高等学校の生徒と地域住民共同で「地域交流農園」を行っています。令和3年度は七月、八月、十月の計三回実施（五回計画）し、新型コロナ等により中止し、高校生四十人含む延べ百二十二人の参加があり、夏野菜のピーマンやナスなどの収穫作業を通して交流を深めました。  
参加された方の中には農業未経験者もあり、高校生から収穫作業のコツを教えてもらいながら一緒に作業をしたり、また逆にベテラン農家の方から高校生が手ほどきを受けたりと、和気あいあいとした雰囲気の中、お互いが良い刺激を受けていたようです。  
こうした取組を通して地域住民の交流や世代間交流、高齢者の生きがいづくりを推進していきます。

## 羽黒地域

**地域の特徴** 出羽三山や松ヶ岡開墾場など歴史と文化がのこり、自然豊かで四季折々の農産物が豊富で魅力ある地域。  
人口 7,811人 世帯数 2,617世帯  
(令和3年4月現在)



「ボッチャ」に挑戦

## プラン① 誰もがつながる・つなげる見守りの仕組みづくり

・幅広い世代を対象にした福祉の心の醸成 など

## プラン② 幅広い世代が集い合える場づくり

・生きがいづくり、仲間づくりの場の提供 など

## プラン③ ともに支えあい助け合える地域づくり

・自治振興会と連携・協働した地域福祉活動の推進 など

**福祉の心を育てる「ボッチャ」に挑戦！**  
羽黒福祉センターでは、「第二次羽黒おもいやりプラン」を策定し、三つの活動目標を掲げました。その中で幅広い世代を対象とした福祉の心の醸成を目的として羽黒地域の小・中学生を対象に、毎年夏休み期間を利用し、福祉に関する学習やボランティア活動を行う「サマーチャレンジ」を企画しています。令和3年度は「障がい」をテーマに、障がいのある方と一緒にボッチャとカローリングに挑戦しました。競技挑戦の前に「障がい」や「福祉」について学んだ後、羽黒町身体障がい者福祉協会の協力の下、親子・兄弟・友達と一緒に競技を楽しみながら障がいのある方への理解を深めました。  
企画当日は、耳の不自由な方へ言葉を筆談ボードに書いて伝える「筆記通訳」の様子を目にし、参加した子どもたちからは「自分のできる気配りもあるのではないかな」といった声が聞かれました。助け合い、共に生きていく社会について考えるきっかけになったようです。

## 櫛引地域

**地域の特徴** 全21地区で形成され、果樹栽培が盛んな地域。伝統芸能の黒川能が国の重要無形民俗文化財に指定されている。  
人口 6,878人 世帯数 2,233世帯  
(令和3年4月現在)



地域の方々と交えた「ふれあい座談会」

## プラン① 必要な情報を共有し、助け合える地域にする

・相談を受けたら関係機関と連携し、チーム支援を行う など

## プラン② 参加・交流・つながりの居場所をつくる

・身近な所につながる機能をもった「居場所」をつくることを支援する など

## プラン③ 住み慣れた地域で一人ひとりの暮らしを守る仕組みをつくる

・地域の中で、困っている人を支える仕組みづくりを支援する など

## プラン④ 相手を理解し、共にいきる地域をめざす

・地域座談会などを通じ「相手を理解する、認める」ことを話し合う機会をつくる など

**「地域でできること」座談会を開催**  
櫛引福祉センターでは、「くしきささえ愛プラン」への理解と地域福祉を進めるための話し合いの場を設けています。地域福祉委員会では、地域でできることについて話し合い、「地域全体が支え合いを意識できるように活動の輪を広げたい」「安心カードを見直し、見守りのツールにしたい」「地域の集まりに防災訓練を入れて交流の場にもしたい」といった意見が出ました。  
地域の区長や役員の皆さんと交えた「ふれあい座談会」では、それぞれの地区の福祉目標を話し合いました。各地区の取組では「最近顔を見ないからサロンに誘おうか」「どのように解決すればいいか」「どのように解決すればいいか」などの声が上がっていました。また、「冬の間だけでもゴミを捨ててあげようか」などの声も上がっていました。こうした声も、着実に支え合いの仕組みが構築されてきていることが実感できます。



# 令和3年度 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動

ご協力ありがとうございました ～運動結果並びに配分のご報告～

## 鶴岡市内の募金総額と内訳

|        |             |
|--------|-------------|
| 戸別募金   | 16,202,350円 |
| 街頭募金   | 157,960円    |
| 学校募金   | 555,957円    |
| 法人募金   | 921,000円    |
| 職域募金   | 1,092,641円  |
| イベント募金 | 14,320円     |
| その他募金  | 534,660円    |
| 合計     | 19,478,888円 |

## 共同募金の使いみち

### ◆県共同募金会へ送金 15,341,888円

令和4年度に、福祉団体、NPO法人、福祉施設等が取り組む子育てや障がい者支援に、また、市社協が推進する支え合い活動やボランティア活動等の地域福祉活動に配分されます。

### ◆歳末たすけあい配分 4,137,000円

令和3年12月末に、新たな年をあたたく迎えられるように、市内の経済的に支援を必要とする世帯（452世帯）、児童養護施設の入所児童・生徒へ配分をしております。



高校生による街頭募金の様子

## 情報掲示板

### 鶴岡福祉バス予約会のお知らせ

(令和4年7月～令和5年3月分)

鶴岡福祉バス予約会のための事前申込を次の日程で受付けます。

●受付期間 4月26日(火)～5月13日(金)  
9時～17時(土日祝除く)

※受付順番によって優位になることはありません。  
※FAXや郵送での受付も可能ですが、土日祝の受付分は翌平日のご連絡になります。

※申請書には必ず押印をお願いします。

●対象期間 ①7月～10月 ②11月～3月  
期間内で1団体1回の予約可

●利用対象 旧鶴岡市区域に住所を有する団体

●予約会日時 5月23日(月) 10時～12時

●会場 鶴岡市総合保健福祉センター(にこ♥ふる)  
3F 大会議室

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、中止や変更となる場合があります。

●申込み・問合せ

鶴岡市社会福祉協議会総務課 福祉バス担当  
☎24-0053(申請書は同所にあります。)

※現在、乗車人数に制限を設けての運行となっています。

※観光や慰安目的のご利用はできません。

### 令和4年度「ふれあい福祉相談」のご案内

#### ●常設相談(職員対応)

日時：月～金曜日(祝日を除く) 8時30分～17時15分  
場所：各福祉センター(問合せ先 ページ下段に記載)

#### ●巡回弁護士相談(上半期4月～9月) 無料・要予約

4月20日(水) 10:00～15:00 鶴岡福祉センター  
5月11日(水) 10:00～15:00 羽黒福祉センター  
5月18日(水) 10:00～15:00 鶴岡福祉センター  
6月15日(水) 10:00～15:00 鶴岡福祉センター  
7月 6日(水) 10:00～15:00 朝日福祉センター  
7月20日(水) 10:00～15:00 藤島福祉センター  
8月17日(水) 10:00～15:00 鶴岡福祉センター  
9月 7日(水) 10:00～15:00 温海福祉センター  
9月14日(水) 10:00～15:00 鶴岡福祉センター

※相談は予約制となっており、各日程の1か月前から予約を受け付けます。

※相談時間はお一人30分、相談料金は無料です。

### 介護職員初任者研修 受講生募集

●研修期間 6月27日(月)～9月6日(火)

●受付日時 6月6日(月)～17日(金) 9時～17時(土日除く)

●申込み・問合せ

鶴岡市社会福祉協議会 事業推進課 ☎35-1711

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

## ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます  
(令和4年1月1日から令和4年3月4日までのご寄付を掲載しています)

### ★一般社会福祉事業へ

#### ◎鶴岡福祉センターへ

・庄内なつメロ会第33回発表会 様 20,000円  
・高橋 誼 様 手作りくるみストラップ 245個

#### ◎鶴岡福祉センターへ

(新型コロナウイルス感染症対策へ)

・鶴岡市立鶴岡第三中学校 様 11,589円

#### ◎朝日福祉センターへ

・あつみ観光協会 温泉支部 様 パック米 116食

### ★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

・Forge & Zest 様  
卓上織機 2台、綜統 2本、アイロン 1台、  
織り糸 22巻、接着芯、布(88,590円相当)

#### ★訪問介護事業所へ

・匿名 様 30,000円

#### ★鶴岡市中央児童館へ

・板垣 昌之 様 児童図書 48冊

### ★フードバンクへ

・東洋羽毛北部販売(株) 福島営業所 様  
食品・飲料品 104個  
・明治安田生命 荘内北営業所 様  
食料品 95点

・カーブス鶴岡ミナ店 様、  
カーブス鶴岡大塚店 様 食品 409点

## おだがいさま

第99号

令和4年4月1日発行

発行部数 47,800部



### 編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる 2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114



この広報誌は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源に発行しています。